

参考:東海エリアにおける傾向

本アンケート調査を、東海エリア在住学生(n=471)に絞り、全国データと比較をしたところ以下のような傾向が見られました。

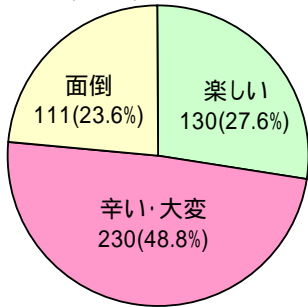
【就職活動における心理】

東海エリア学生の49%が現在の就職活動を「辛い・大変」と感じているが、全国(52%)の割合をわずかに下回っている。同時に、先輩の就職活動を見て「厳しい就職環境が続くけれど、自分はなんとかなる」と思っている学生は18%にとどまり、「厳しい就職環境が続くから、自分もがんばらなければならない」と感じている学生(70%)が多数を占めている。就職活動が「楽しい」と感じている学生と「辛い・大変」とした学生のいずれも「なんとかなる」の割合はほとんど変わらず、「がんばらなければならない」とする認識は共通している。また、東海エリアの「がんばらなければならない」とする学生の割合は全国(67%)と比べるとやや高い水準となっている。

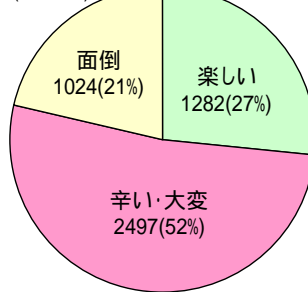
現在の就職活動に対する心境

(単一回答)

東海エリア(n=471)

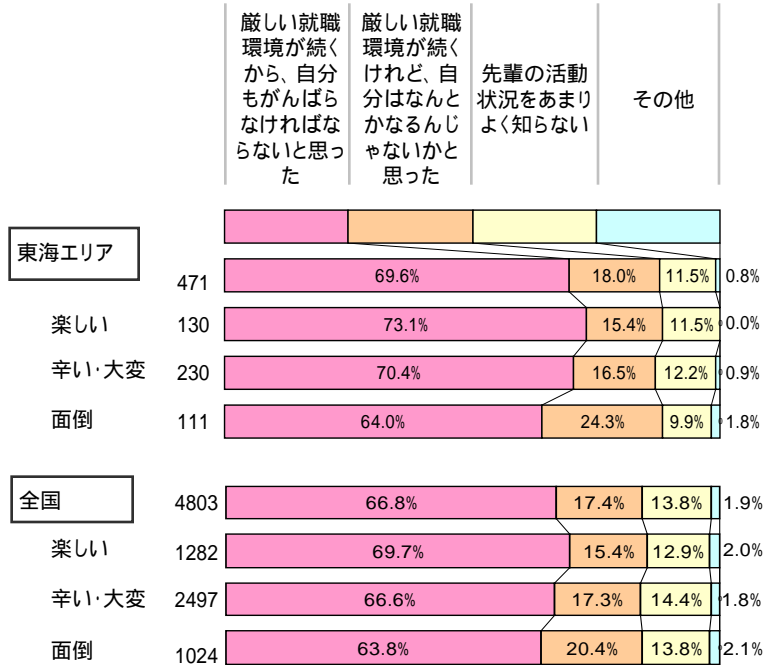


全国(n=4803)



一つ上の先輩の活動に対する印象(心境別)

(単一回答)



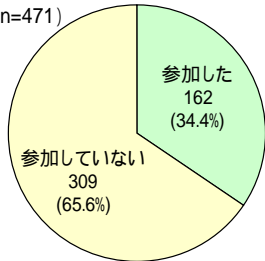
【就職活動の状況】

インターンシップへの参加学生の割合は34%と全国より約6ポイント低く、さらにOB・OG訪問については「訪問した」が19%と、全国(24%)よりも5ポイント低い。OB・OG訪問の人数を見ても、2人までが59%を占め、その割合は全国(55%)を上回っている。

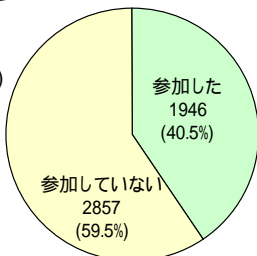
インターンシップ参加の有無

(単一回答)

東海エリア(n=471)



全国(n=4803)

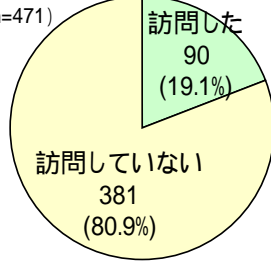


インターンシップの参加社数について問い、0社を「参加していない」、1社以上を「参加した」とした。

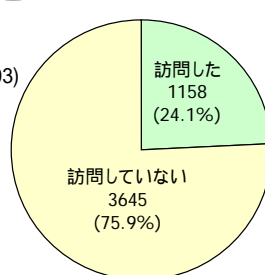
OB・OG訪問の有無

(単一回答)

東海エリア(n=471)



全国(n=4803)



OB・OGの訪問人数について問い、0人を「訪問していない」、1人以上を「訪問した」とした。

OB・OG訪問した人数

